

# 「サザエさん一家の『もりのわ』話吹き出しコンテスト」表彰式を開催しました

林野庁は、令和6年9月28日（土曜日）、「サザエさん一家の『もりのわ』話吹き出しコンテスト」表彰式を開催しました。本コンテストは、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用の意義を多くの方に考えていただくきっかけとなるよう、長谷川町子美術館との連携の下、「森林の環（もりのわ）応援団」サザエさん一家の4コマ漫画を活用して実施するもので、昨年に引き続き2回目の開催です。

コンテストには全国から1,427件の応募をいただき、選考委員会を経て、林野庁長官賞は、愛媛県砥部町の秋本康富さんと北海道函館市の苗村歩果さん、みどりの感謝祭運営委員長賞は東京都青梅市の飛田直子さん、長谷川町子美術館賞は愛知県小牧市の五十君友宏さんが受賞しました。2024ミス日本みどりの大使の司会により始まった表彰式には、4名の受賞者やプレゼンター等に加え、森林の環応援団のサザエさんとマスオさんも夫婦で出席し、受賞者の方々に大好評でした。



## 林野庁長官賞 「木の可能性」

北海道函館市苗村歩果（10代）



©長谷川町子美術館

## 林野庁長官賞 「伐りどき」

愛媛県砥部町秋本康富氏（40代）



©長谷川町子美術館

表彰式の後には、受賞者と林野庁担当者との意見交換を行い、作品制作時の発想や制作にあたって調べたこと、森林や木材利用について日常で感じていること等について伺いました。林野庁長官賞を受賞した苗村さんからは「学校の国語の授業として取り組んだ。『植えて、育てる』に着目し、最後のコマは



### 長谷川町子美術館賞 「若返りは大切だけど」 愛知県小牧市五十君友宏氏 (30代)



©長谷川町子美術館

### みどりの感謝祭運営委員長賞 「木を暮らしに」 東京都青梅市飛田直子氏 (70代)



©長谷川町子美術館

宇宙でも花見ができれば面白いなあと考えた。」とのコメントをいただき、同じく林野庁長官賞を受賞した秋本さんからは「子どもが生まれたこともあり、木育に興味がある。今後さらに木材利用が広まるとよい。」とのコメントをいただきました。本コンテス

トが日常生活の中で木や木材利用について考えるきっかけとなったことがうかがえました。林野庁では、サザエさん一家にご協力いただきながら、引き続き施策をより多くの方々に発信し、ご理解いただけるよう努めて参ります。